NIE実践報告

1．タイトル：言語技術のレッスン

2．学校名

広島県立廿日市西高等学校

3．実践者名（代表者名）

中田由紀子

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　293人（12グループ）

6．単元（本時の学習課題）名

紙上特別講義

7．目標（狙い）

①情報の集め方、まとめ方、報告や発表の仕方などを学び、ものの考え方を身につける。
②現代社会と自己の生き方を関連付けて考える。

8．評価の視点

現代の社会問題について論者の意見を正確に読み取り、自分の意見を根拠を明らかにして明確に表現できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「紙上特別講義」3時間配当　（言語技術のレッスン　全7時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①グループごとに割り当てられた学習課題（紙上特別講義）に取り組み、現代の社会問題について理解を深めるとともに、論者の意見を正確に読み取る。
②作文と小論文との違いを理解する。（①②で1時間）
③小論文を書くための「文章の型」を活用しながら、500字程度で説得力のある文章を書く。（1時間）
④小論文完成を目指すとともに、模範解答となる記事を読み、再度推敲し、論理的な思考トレーニングを行う。（1時間）

（留意点）
・社会の動きに関心を持ち、学習の見通しを持つ。
・収集した情報や考察した内容を選択し、適切な文章にまとめる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「サッカーとW杯」や「顔とは」「コンビニ学」など、生徒の興味関心の高いテーマ設定だったため、積極的に取り組んでいた。また意見文は500字程度と絞ったので、どの生徒にも書きやすかったようである。

12．成果と課題

3年次には、各自で設定したテーマについての課題研究・調査をゼミ別で行っている。12ゼミそれぞれの分野に対応した現代の社会問題を設定するためには、新聞記事を用いることが大変有益であった。また「紙上特別講義」への読者からの投稿記事を読むことで、さらに視野を広げることができた。今後も継続して新聞を教材として用い、社会の動きに関心を持ち、積極的に社会の問題に取り組もうとする意欲を養う必要がある。